

第40回 全日本物流改善事例大会2026で大反響！

手書き伝票処理の自動化で繁忙期1,200時間を削減！ 業務用イメージスキャナー×AI-OCRが 流通DXと省人化を実現



株式会社PFU（代表取締役 社長執行役員：平原 英治）は、2026年5月12日（火）・13日（水）に東京都港区の東京コンファレンスセンター・品川で開催された「第40回 全日本物流改善事例大会2026」において、「優秀事例」に選出された尼高運輸株式会社様の取り組みについて発表を行いました。同取り組みでは、当社の「RICOH fi Series」（以下、fiシリーズ）およびAI-OCRソフトウェア「DynaEye」をご活用いただいています。

従来、手作業だった伝票処理を自動化し、「1,200時間の業務削減と人員半減」を実現した具体的なプロセスや効果をご紹介します、会場では同じ課題を抱える物流・流通担当者様から活発なご質問や前向きなご意見を多数いただきました。

ご参加者様からの反響が特に大きかった発表のポイントや発表内容をご報告します。



ご好評いただいた

3つの注目ポイント！

手間の多い紙業務を「これなら！」と現場で驚きの声を多数いただきました。ご参加者様からの反響が特に大きかった3つの注目ポイントをご報告します。

※ ドキュメントスキャナーを対象とする。日本・北米はKEYPOINT INTELLIGENCE社 (InfoTrends)により集計（2024年実績）。ドキュメントスキャナー集計よりMobile/Microを除く6セグメントの合計マーケットシェア（主に8ppm以上のドキュメントスキャナー全体）。欧州はinfoSource社（2024年実績）の集計に基づく、西欧地区（トルコとギリシャを含む）におけるシェア。



fiシリーズ
詳細は
こちら



深刻な人手不足を解消する 圧倒的な省人化



- 繁忙期に25~30人必要だった伝票処理の人員を、「fiシリーズ」と「DynaEye 11」の活用により14人へとほぼ半減させた実績をご紹介します。

手書き作業ゼロへ！ ヒューマンエラーの激減



- 従来手書きしていた作業指示書（小鑑）の作成を「DynaEye」のOCR活用で自動化したことで、記入ミスが激減。「作業の正確性」が大きく向上した点が評価されました。

現場スタッフが 迷わず使える操作性



- 厚みのある宅配伝票も、紙をセットしてクリックするだけでスキャンできる「fiシリーズ」の使いやすさと紙詰まりの少なさが現場運用の定着につながっていると共感を集めました。

物流・流通DXと業務改善につながる現場起点の実践事例

本発表では、DX推進に向けた具体的な事例を以下の通りご紹介しました。

物流・流通DXを支える「fiシリーズ」と「DynaEye 11」を紹介 ——業務効率化と作業負担低減の両立に貢献

尼高運輸株式会社様では、大手食品メーカーのお中元・お歳暮のギフト発送代行業務において、宅配伝票処理を手作業で行っていました。百貨店から届く伝票をハンディスキャナーで読み取り、包装や熨斗（のし）の内容を記載した作業指示書（小鑑）を1枚ずつ手書きで作成しており、大きな作業負担となっていました。繁忙期にはこの作業だけで25～30名のスタッフが必要となり、人手不足のなか人員確保や残業、手書きによる記入ミスが課題となっていました。

解決策として、手作業で行っていた伝票処理業務をデジタル化する仕組みを構築しました。紙で届く伝票は高速スキャナー「fi-8190」でスキャンし、PDFで届く伝票データとともにAI-OCRソフトウェア「DynaEye 11」に取り込みます。「DynaEye 11」が品名や数量など必要な項目を自動で読み取りデータ化（CSV出力）することで作業指示書を手書きすることなく自動生成・印刷できる仕組みを実現。

これにより、従来は人手に頼っていた伝票処理業務を大幅に効率化し、少人数でも業務を回せる体制を整えました。

■ 導入効果

伝票処理の自動化により、現場では次のような大きな改善効果が生まれました。

- ・ 1,200時間の業務削減：夏と冬の繁忙期（実質3か月間）を合わせ、約1,200時間の業務時間削減を実現。
- ・ 省人化：繁忙期に25～30名必要だったスタッフが、わずか14名で対応可能に。
- ・ 残業の大幅削減：夜遅くまで続いていた作業が、基本的には18時頃、遅くとも19時には終了。
- ・ 作業品質の向上：OCRを利用し作業指示書を自動生成することで、手書きによるミスが大幅に減少し、ギフト発送業務の品質を向上。



今後の展開とさらなる取り組み

当社は今後も、物流・流通業界の皆さまの業務課題に寄り添い、現場から着実に進められるDXの実現を支援してまいります。豊富な実績や導入事例に裏付けられた信頼性と、パートナー様との連携によるソリューションを通じて、業務の標準化・効率化・安心運用を共に進めてまいります。

「DynaEye 11」が、さらに便利に

一般的に認識が難しいとされるFAXやドットプリンター印字もDynaEye 11の高度なAI-OCR技術で正確にデータ化

AI-OCRソフトウェア

DynaEye 11

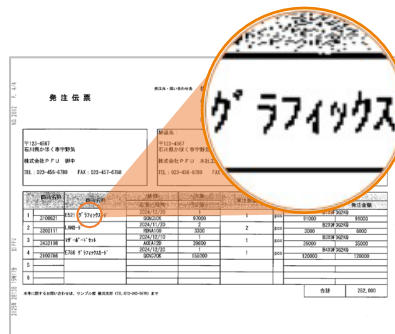


詳細はこちら

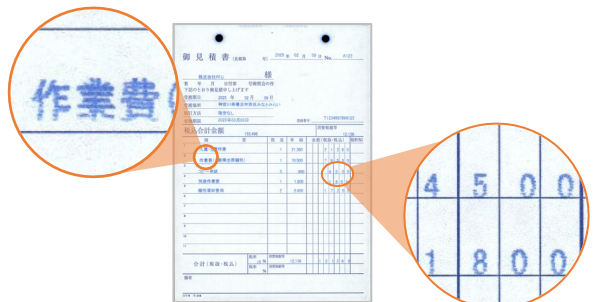
「DynaEye 11」は、紙や画像の文字を高精度で認識、手入力の負担を軽減し、業務効率化を実現。

自治体・金融機関・JAなど幅広い業種で、**累計8,500社以上**にご導入いただいています。

■ FAX※による文字のカスレ



■ ドットプリンターで発生しやすい薄い文字や罫線と接触している文字



※極端な拡張や大きくゆがんだ書類は認識できません。

株式会社 PFU

お問い合わせはこちら
<https://www.pfu.co.jp/dynaeye/inquiry.html>



■ 横浜本社 ☎(045)305-6000

〒220-8567 横浜市西区みなとみらい4-4-5(横浜アイマークプレイス)

■ 北海道オフィス ☎(011)242-2212

■ 東海オフィス ☎(052)232-2435

■ 東北オフィス ☎(050)3786-2204

■ 関西オフィス ☎(06)6152-8153

■ 北陸オフィス ☎(050)3819-9160

■ 九州オフィス ☎(050)3819-9180

記載されている製品名などの固有名詞は各社の商標または登録商標です。仕様は改良のため予告なく変更することがありますので予めご了承ください。